

令和 8 年 3 月 1 8 日
障害福祉部障害者施策課

江東区地域生活に関する調査結果概要

(令和 7 年度障害者実態調査)

I 調査項目

項目	設問番号		設問内容
	障害者	障害児	
本人の状況	問 1	問 1	本人／お子様の年齢
	問 2	問 2	障害種別・身体障害種別
	問 3	問 3	障害者手帳について
	—	問 4	発達に関する診断について
	—	問 5	発達に関する問題に気づいた年齢
	問 4	—	調査回答者
	問 5	問 6	同居者構成
	問 6	—	日常生活の中で介護や支援が必要か
仕事や 学校生活	問 7	問 7	日常生活の中で医療的ケアが必要か
	問 8	問 8	日中の活動について
	問 9	—	就業者の現在困っていること／今後の希望
	問 10	—	自宅療養者等の現在困っていること／今後の希望
	問 11	—	事業所等通所者の現在困っていること／今後の希望
	問 12	—	学校等で現在困っていること／希望する進路
	—	問 9	お子様の保育や学校生活で心配なこと困っていること／希望する進路
	問 13	—	障害のある方が仕事をしていくために必要なこと
社会参加や コミュニケーション	—	問 10	療育や支援でさらに充実させるべきこと
	問 14	問 11	社会参加や余暇活動などで外出するときに困ること
	問 15	問 12	社会参加の支援サービスについての要望
情報・相談 先	問 16	問 13	余暇の過ごし方
	問 17	問 14	福祉に関する情報入手経路
	問 18	問 15	福祉サービスの利用で困ったときの相談先
	問 19	問 16	福祉サービスの利用について区役所などへ相談しやすくするために必要なこと
	問 20	問 17	情報の取得利用や意思疎通において特に必要な施策
サービスの 利用	問 21	—	パソコンやスマートフォン、タブレットの機能を使って連絡をしているか
	問 22	問 18	福祉サービスの利用状況
	問 23	問 19	サービス等利用計画を作成しているか
	問 23-1	問 19-1	サービス等利用計画を自分で作成している理由
	問 24	問 20	利用しているサービスの量や質の満足度
問 25	問 21	現在利用しているサービス提供事業者に望むこと	

暮らし	問26	問22	江東区にいつから住んでいるか
	問27	問23	現在の居住形態
	問28	—	住まいに関して必要な支援
	問29	問24	家計の状況
	問30	—	将来希望する暮らし
	問31	問25	希望する暮らしをするために／将来自立した生活を送るために必要なこと
	—	問26	江東区立図書館で充実すべきサービス
	問32	問27	取り組んでみたい文化芸術活動
災害時の支援	問33	問28	避難行動要支援者名簿の認知度
	問33-1	問28-1	個別避難計画の認知度
	問34	問29	地域の防災訓練に参加したいか
	問34-1	問29-1	地域の防災訓練に参加したくない理由
	問35	問30	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと
	問36	問31	災害時に必要な支援
	問37	問32	災害に対してどのような備えをしているか
障害者施策	問38	問33	改正障害者差別解消法（合理的配慮の提供）の認知度
	問39	問34	障害者虐待防止センターの認知度
	問40	問35	差別されたと感じた経験の有無
	問41	問36	差別を防ぐために必要なこと
	問42	問37	日常生活の中で周囲から配慮されていると思うか
	問43	問38	3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したと思うか
	問44	問39	3年前と比べて江東区の福祉サービスは変化したと思うか
	問45	問40	障害者（児）支援施策への満足度
	問46	問41	周りの人から助けってもらったり、してもらったりしてうれしかったこと
障害者スポーツ	問47	問42	取り組んでみたいスポーツ
	問48	問43	スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていること
共生社会の実現	問49	問44	家庭と近所との付き合いの程度
	問50	問45	外出先で知らない人から手助けや配慮してもらった経験の有無
	問51	問46	江東区での暮らしについて
	問52	問47	江東区に住み続けたいと思うか
	問53	問48	障害のある人もない人も共に生活できる地域社会の実現のために大切なこと
	問54	問49	ヘルプマークの認知度
	問55	—	成年後見制度／日常生活自立支援事業の認知度
	問56	問50	公園で不便に感じていること
	問57	問51	現在の幸福度
	問58	問52	江東区の障害者施策へのご意見・ご要望

介護者	問59	—	主たる介護者の続柄／年齢／1日の介護時間
	問60	—	介護するにあたっての悩みや不安
	問61	—	長期間介護できなくなった場合の対応
	問62	—	家族で介護する人への支援について
	問63	問53	主な介護者の要介護度
	—	問54	介護するにあたっての悩みや不安
	問64	問55	主な介護者の現在の勤務形態
	問64-1	問55-1	介護にあたっての働き方の調整について
	問64-2	問55-2	仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援について
	問64-3	問55-3	今後も働きながら介護を続けていけそうか
	—	問56	お子様が18歳になった時に希望する進路
	問65	問57	介護している人の／お子様の将来で不安に思うこと
	問66	問58	医療的ケアを必要とする介護についての困りごとや不安

項目	サービス事業所	設問内容
事業所	問1	事業所の経営主体
	問2	事業所の職員数（常勤・非常勤）
	問3	職員の経験年数
	問4	指定を受けているサービスの種別
	問5	介護保険サービスの指定を受けているか
	問6	事業所の開業年
サービスの提供	問7	サービスの利用者数
	問8	サービスの提供量
	問9	サービスを提供する上での課題
	問10	利用者やご家族からの相談や苦情の内容
	問11	スタッフの質の向上や人材育成のために取り組んでいること
	問12	サービスの質の向上のために取り組んでいること／今後取り組みたいこと
	問13	今後支援を拡充したいと思う分野
	問14	今後知識やスキルを拡充したいと思う分野
事業所運営	問15	「障害福祉サービス」「介護保険サービス」のどちらに力を入れているか
	問16	「障害福祉サービス」「介護保険サービス」の売り上げの割合
	問17	事業所を運営していく上での課題
	問18	人材確保のために取り組んでいること
	問19	福祉人材確保・定着のために活用した補助金事業等
	問20	職員数は充足しているか
	問20-1	職員数が充足していない理由
	問20-2	職員数が充足していない職種
	問21	今年度の収支状況
	問22	今年度と昨年度の収支状況の比較
問23	収支の向上や改善についての考え	
問24	今後3年間に事業拡大／新規参入の考えがあるもの	

事業所運営	問25	事業拡大／新規参入する上での課題
	問26	事業拡大／新規参入を促進するために区が取り組むべきこと
	問27	I C Tを活用している業務
	問28	医療的ケア／重度心身障害／強度行動障害への対応状況
	問28-1	医療的ケア／重度心身障害／強度行動障害への配慮の内容
	問28-2	医療的ケア／重度心身障害／強度行動障害へのサービス提供で必要なこと
	問29	区全体で不足していると思われるサービスや支援
	問30	共生型サービスの認知度／指定状況
	問31	入所者の地域生活への移行を進める上での課題
	問32	地域生活への移行を進める上で工夫していること
	問33	虐待防止対策について取り組んでいること
	問34	職員から利用者への虐待やハラスメント防止のために工夫していること
	問35	利用者から職員への虐待やハラスメント防止のために工夫していること
	問36	利用者の意思決定支援の対応状況
	問37	災害時の対策について
連携	問38	地域の住民・団体・ボランティア等との関わりについて
	問39	地域との連携を図るために行っていること
	問40	連携している関係機関・団体
	問41	関係機関・団体との連携強化のために必要なこと
自由意見	問42	区の障害者施策についてのご意見・ご要望

障害者団体	設問内容
問1	相談・情報提供体制、コミュニケーション支援
問2	自立生活支援
問3	保健・医療
問4	ユニバーサルデザイン、生活環境
問5	雇用・就労
問6	地域活動支援
問7	区民の理解・共感の醸成・促進
問8	地域生活環境整備
問9	配慮を必要とするこどもに対する教育・療育
問10	団体運営・活動上の課題等
問11	その他、活動上通じて感じる課題等

Ⅱ 調査結果

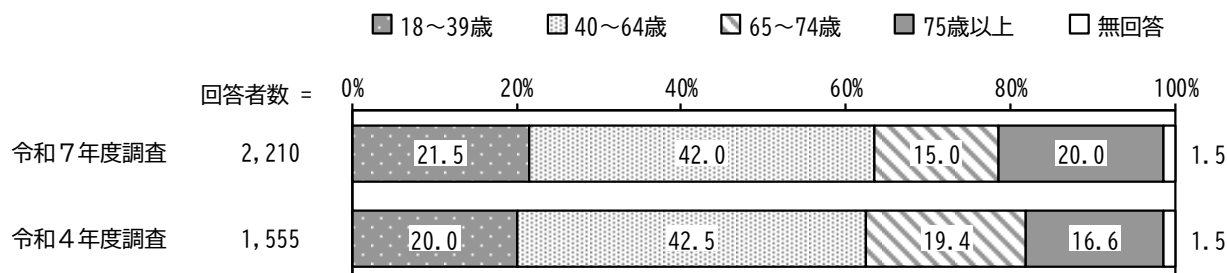
1 障害者

(1) ご本人の状況について

問1 あなた（ご本人）の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

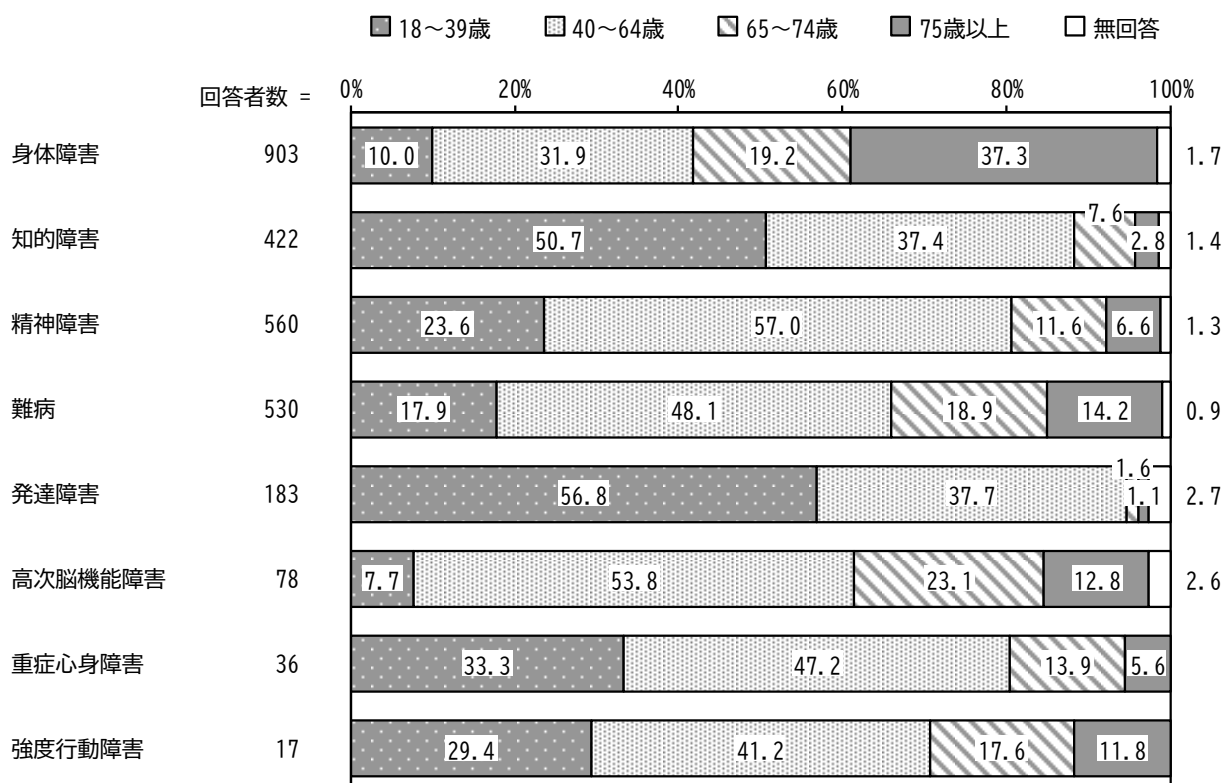
【全体】

「40～64歳」の割合が42.0%と最も高く、次いで「18～39歳」の割合が21.5%、「75歳以上」の割合が20.0%となっています。



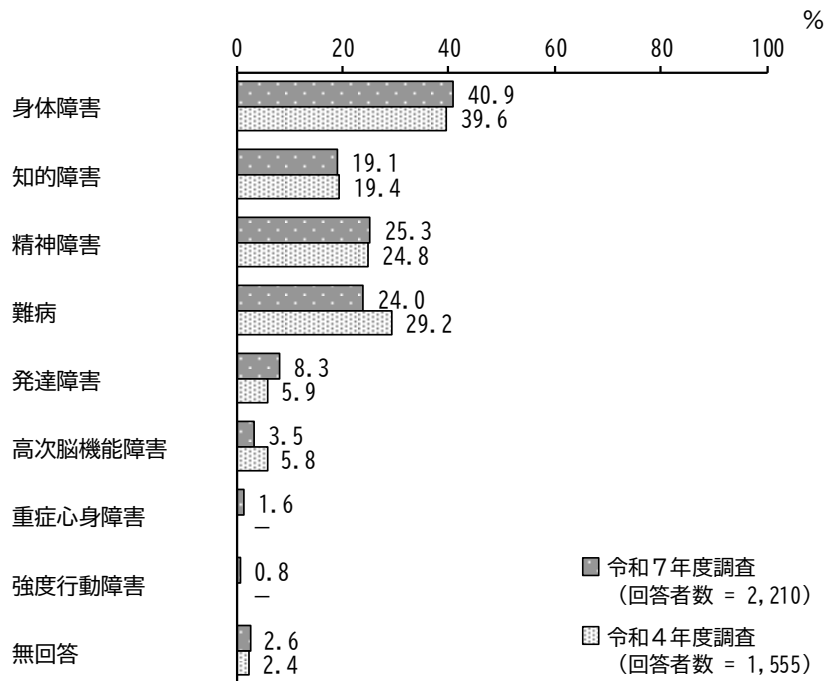
【障害種別】※複数回答可

障害種別にみると、発達障害で「18～39歳」、精神障害で「40～64歳」、身体障害で「75歳以上」の割合が高くなっています。



問2 あなた（ご本人）の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

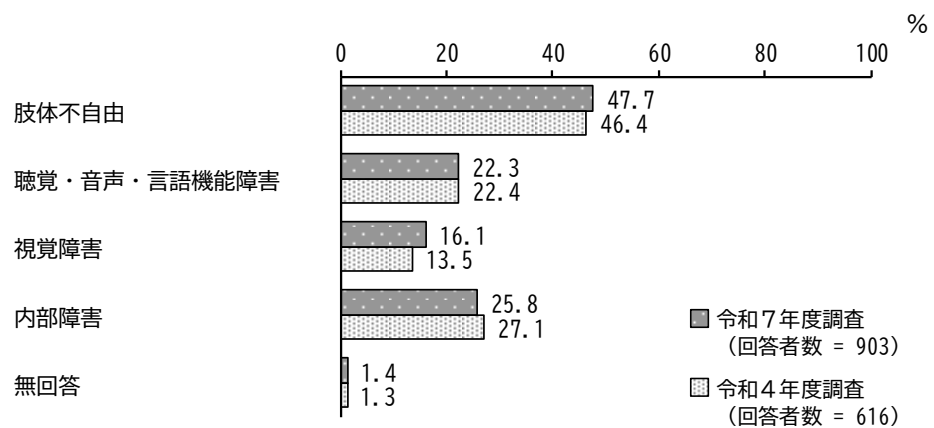
「身体障害」の割合が40.9%と最も高く、次いで「精神障害」の割合が25.3%、「難病」の割合が24.0%となっています。



※回答項目の「重症心身障害」、「強度行動障害」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

身体障害の種類

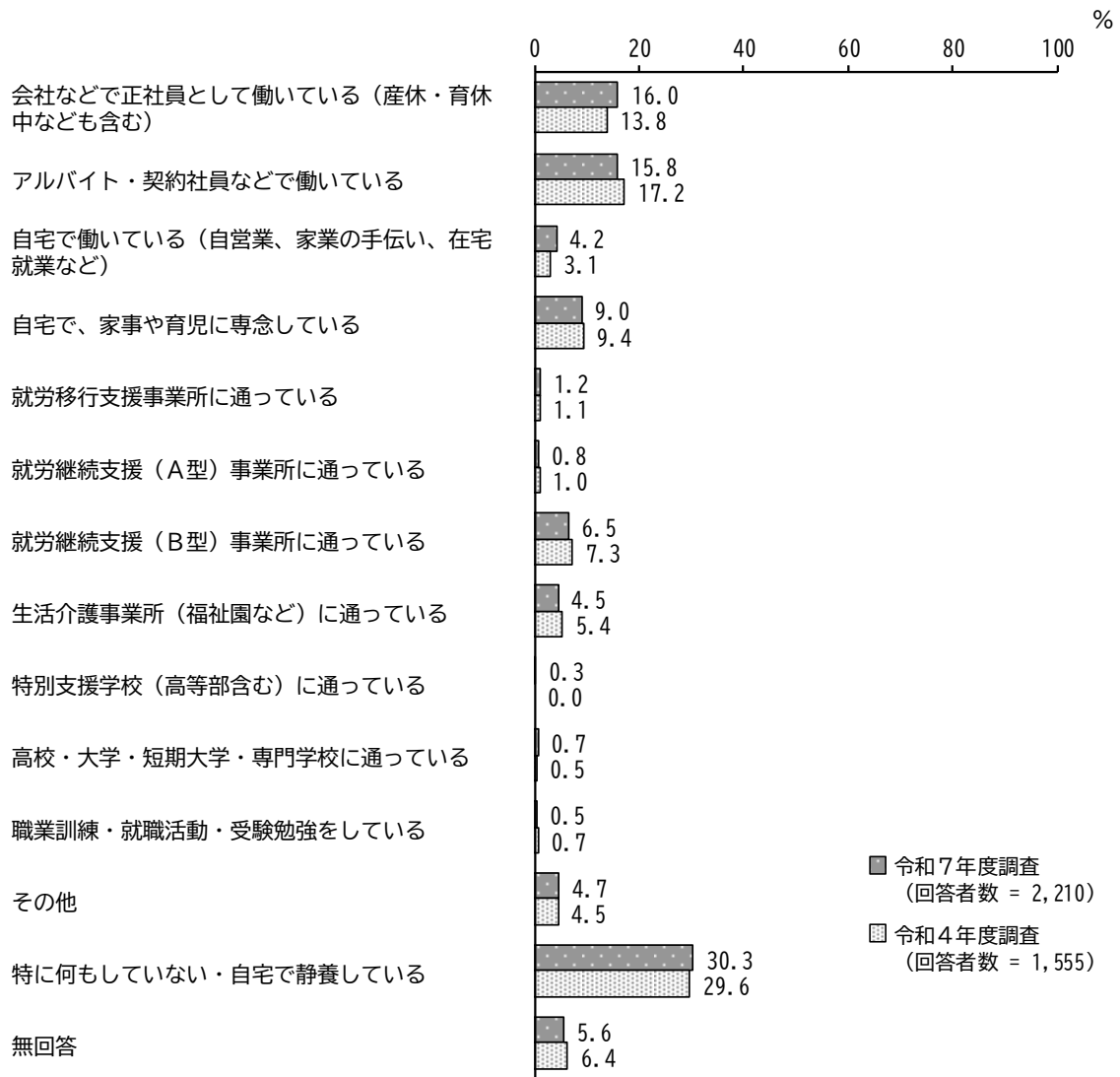
「肢体不自由」の割合が47.7%と最も高く、次いで「内部障害」の割合が25.8%、「聴覚・音声・言語機能障害」の割合が22.3%となっています。



(2) 仕事や学校生活について

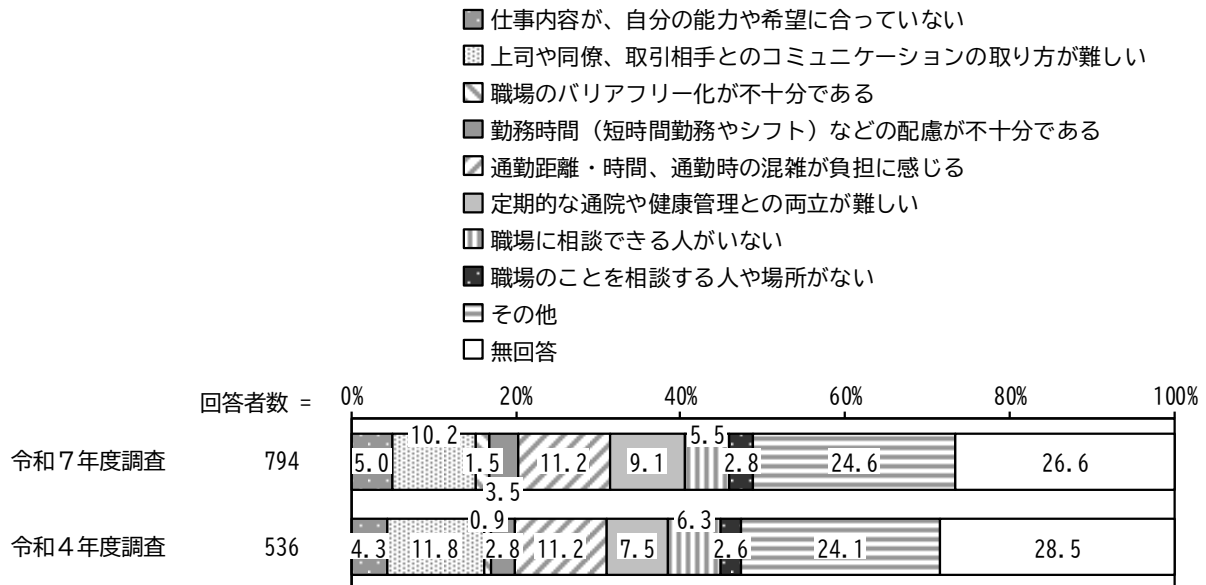
問8 あなた（ご本人）は、普段（休日以外）は、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）」の割合が16.0%と最も高く、次いで「アルバイト・契約社員などで働いている」の割合が15.8%となっています。



問9 仕事をする上で困っていることはありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

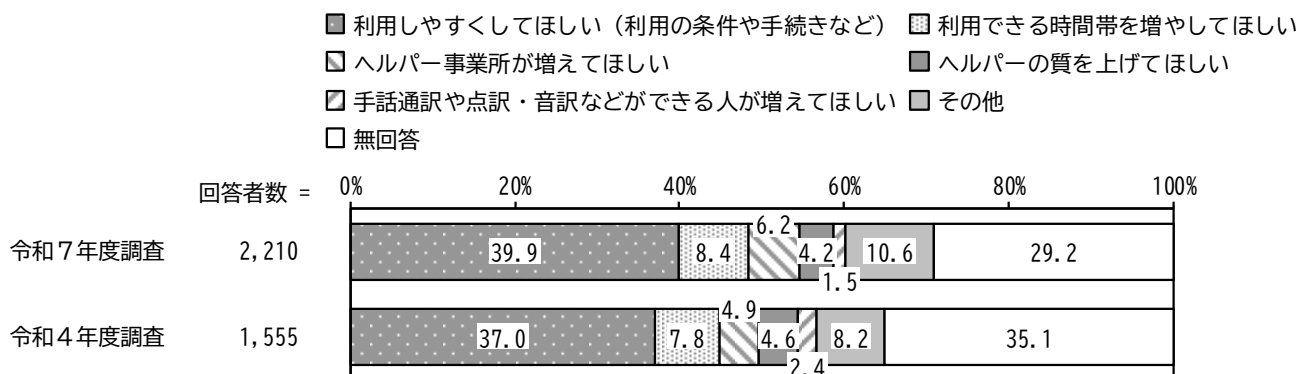
「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」の割合が11.2%と最も高く、次いで「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」の割合が10.2%となっています。



(3) 社会参加やコミュニケーションについて

問15 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

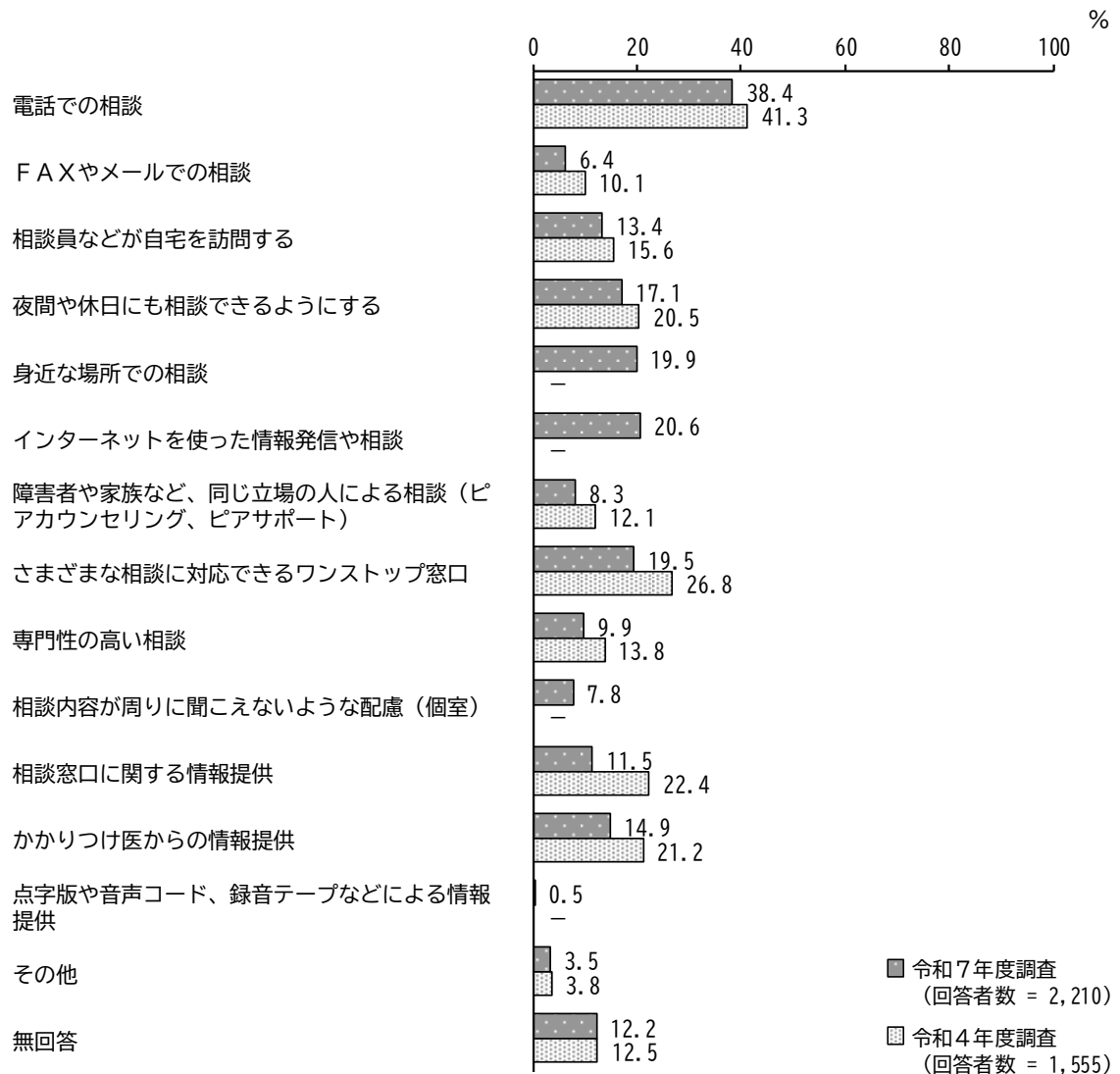
「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が令和4年度と同様に39.9%と最も高くなっています。



(4) 情報・相談先について

問 19 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「電話での相談」の割合が38.4%と最も高く、次いで「インターネットを使った情報発信や相談」の割合が20.6%、「身近な場所での相談」の割合が19.9%となっています。

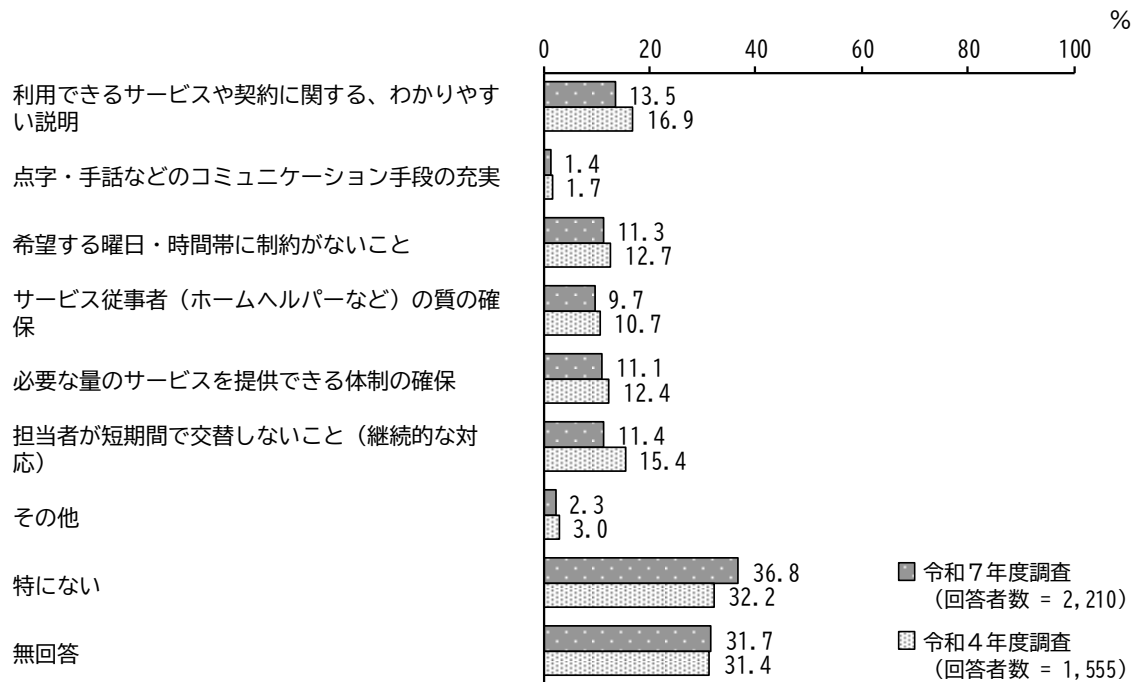


※回答項目の「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「相談内容が周りに聞こえないような配慮 (個室)」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

(5) サービスの利用について

問 25 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

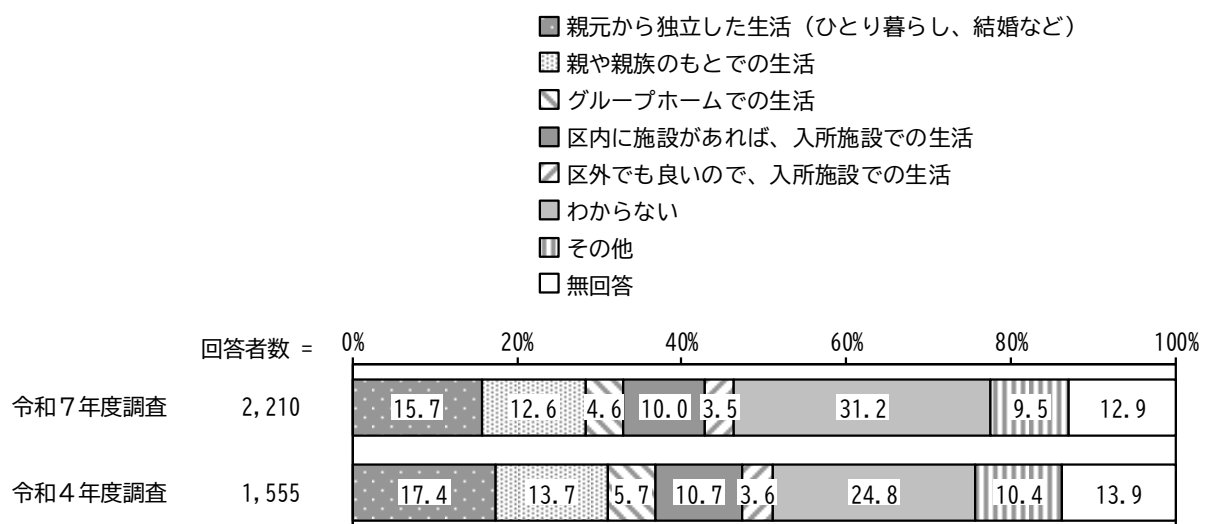
「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が 13.5%と最も高く、次いで「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が 11.4%、「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が 11.3%となっています。



(6) 暮らしについて

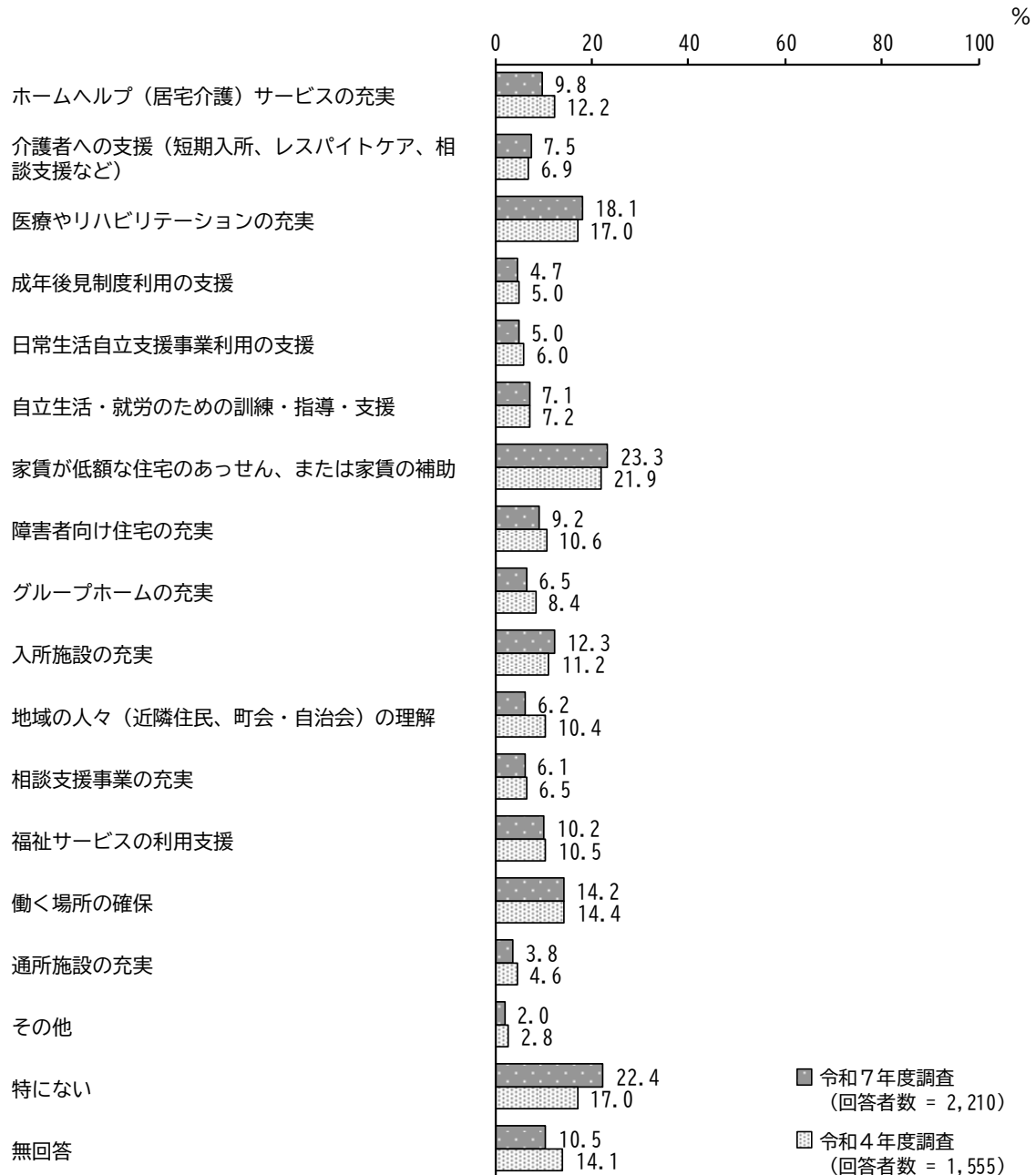
問 30 あなた（ご本人）は、将来どのような暮らしを希望していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※今の暮らしを続けていきたい方は、今の状況をお答えください。

「親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）」の割合が 15.7%と最も高く、次いで「親や親族のもとでの生活」の割合が 12.6%、「区内に施設があれば、入所施設での生活」の割合が 10.0%となっています。



問 31 あなた（ご本人）が希望する暮らしをするために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

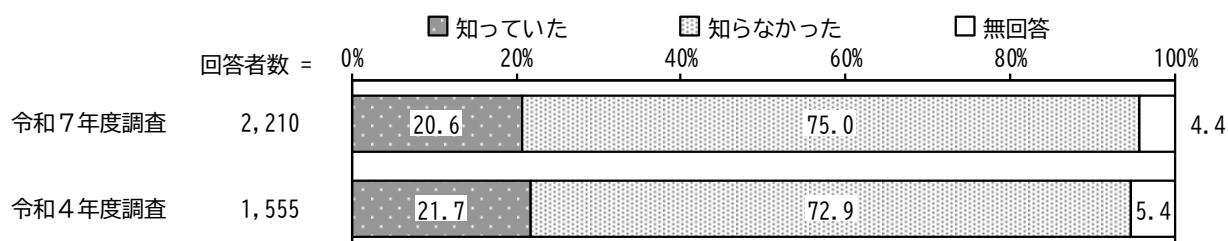
「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」の割合が 18.1%、「働く場所の確保」の割合が 14.2%となっています。



(7) 災害時の支援について

問 33 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

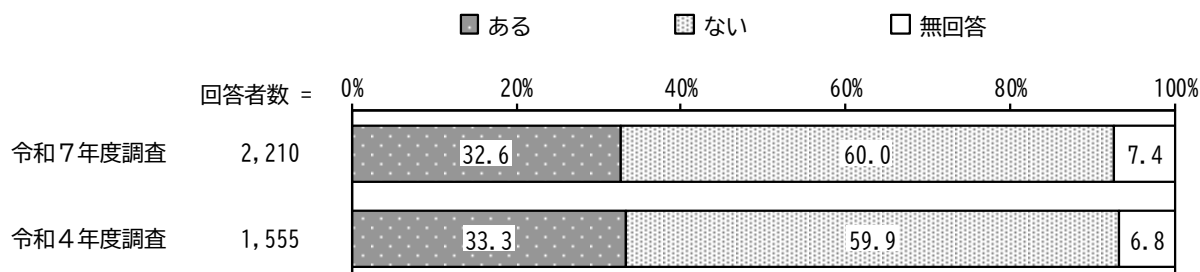
「知っていた」の割合が 20.6%、「知らなかった」の割合が 75.0%となっています。



(8) 障害者施策について

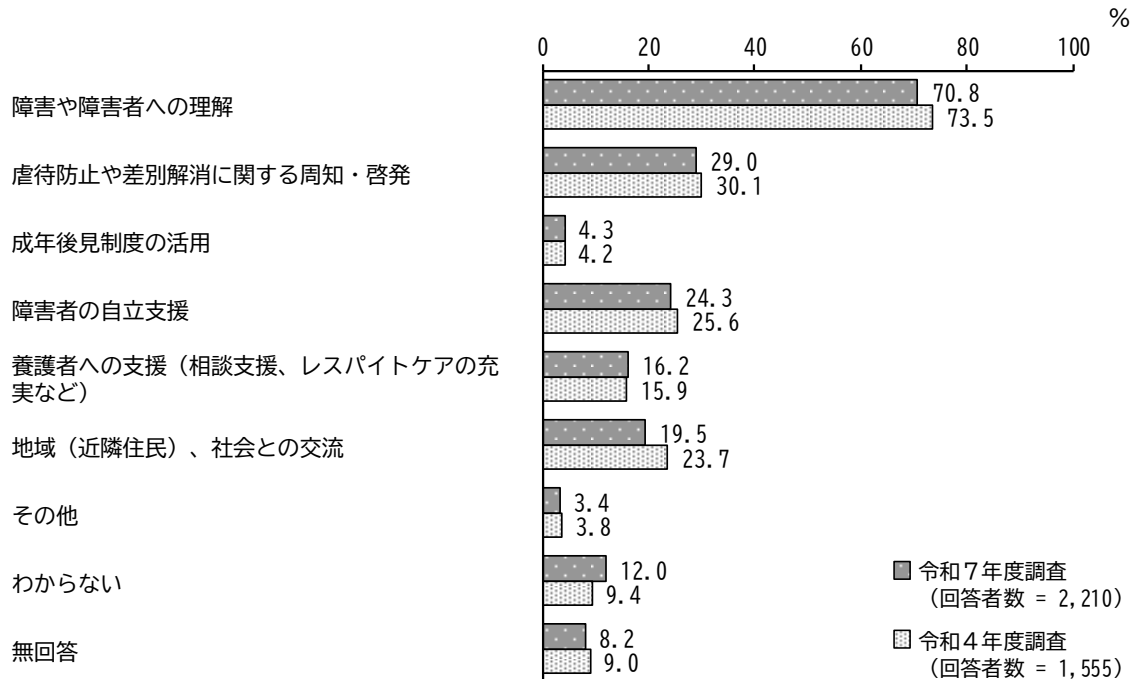
問 40 あなた（ご本人）は、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が 32.6%、「ない」の割合が 60.0%となっています。



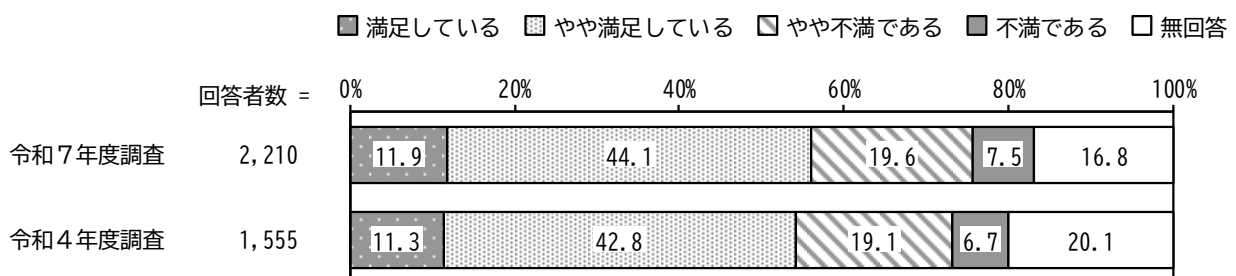
問 41 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害や障害者への理解」の割合が70.8%と最も高く、次いで「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」の割合が29.0%、「障害者の自立支援」の割合が24.3%となっています。



問 45 あなた（ご本人）は、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

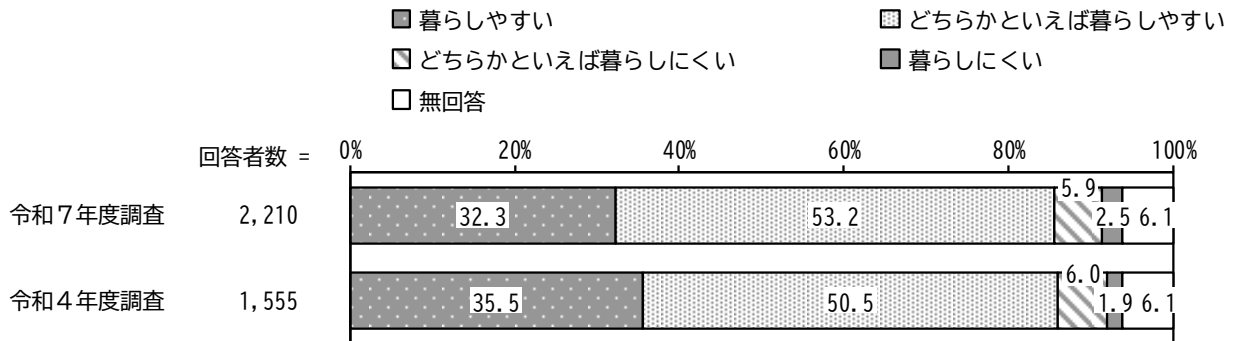
「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が56.0%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”の割合が27.1%となっています。



(9) 共生社会について

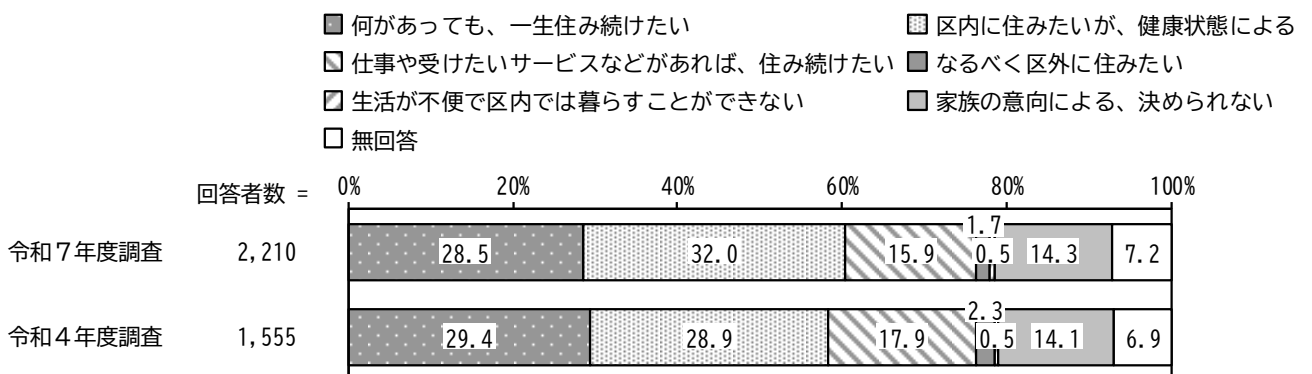
問 51 あなた（ご本人）にとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるものの1つに○をつけてください。

「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた“暮らしやすい”の割合が85.5%、「どちらかといえば暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた“暮らしにくい”の割合が8.4%となっています。



問 52 あなた（ご本人）は、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

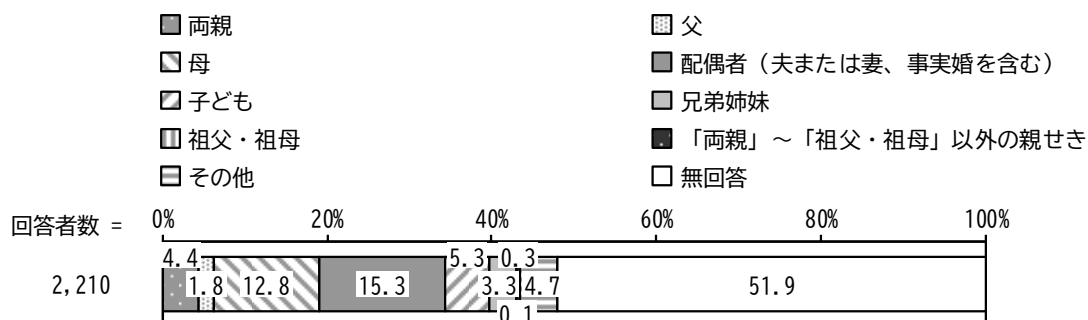
「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が32.0%と最も高く、次いで「何があっても、一生住み続けたい」の割合が28.5%、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が15.9%となっています。



(10) 介護者について

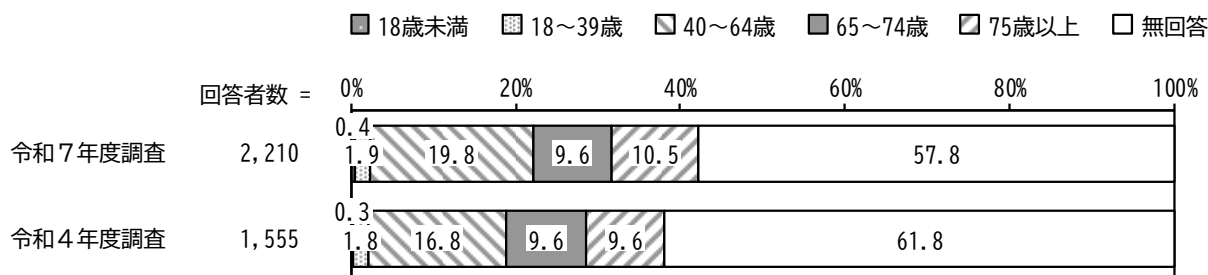
問 59 主たる介護者の方の続柄（ご本人様から見た関係）と年齢、1日の平均的な介護の時間数について、お聞きします。続柄は、あてはまるもの1つに○をつけてください。年齢と1日の平均的な介護の時間数は、それぞれ記入してください。

「配偶者（夫または妻、事実婚を含む）」の割合が 15.3%と最も高く、次いで「母」の割合が 12.8%となっています。



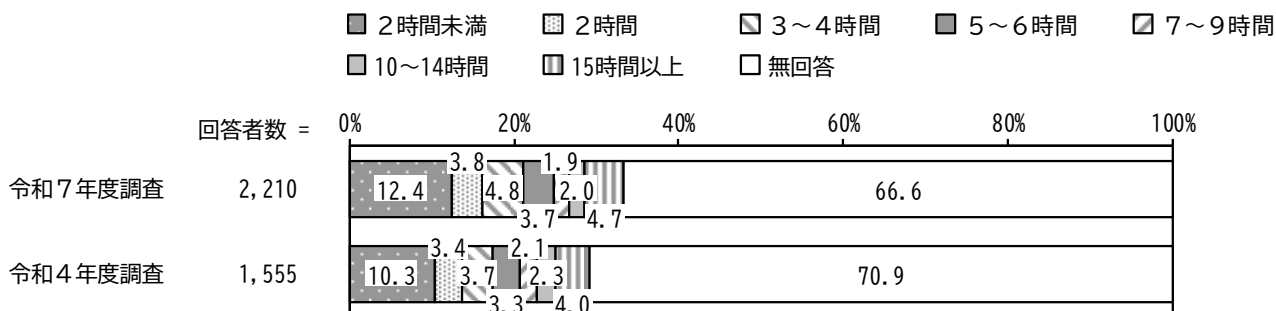
ア) 介護者の年齢

「40～64 歳」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「75 歳以上」の割合が 10.5%となっています。



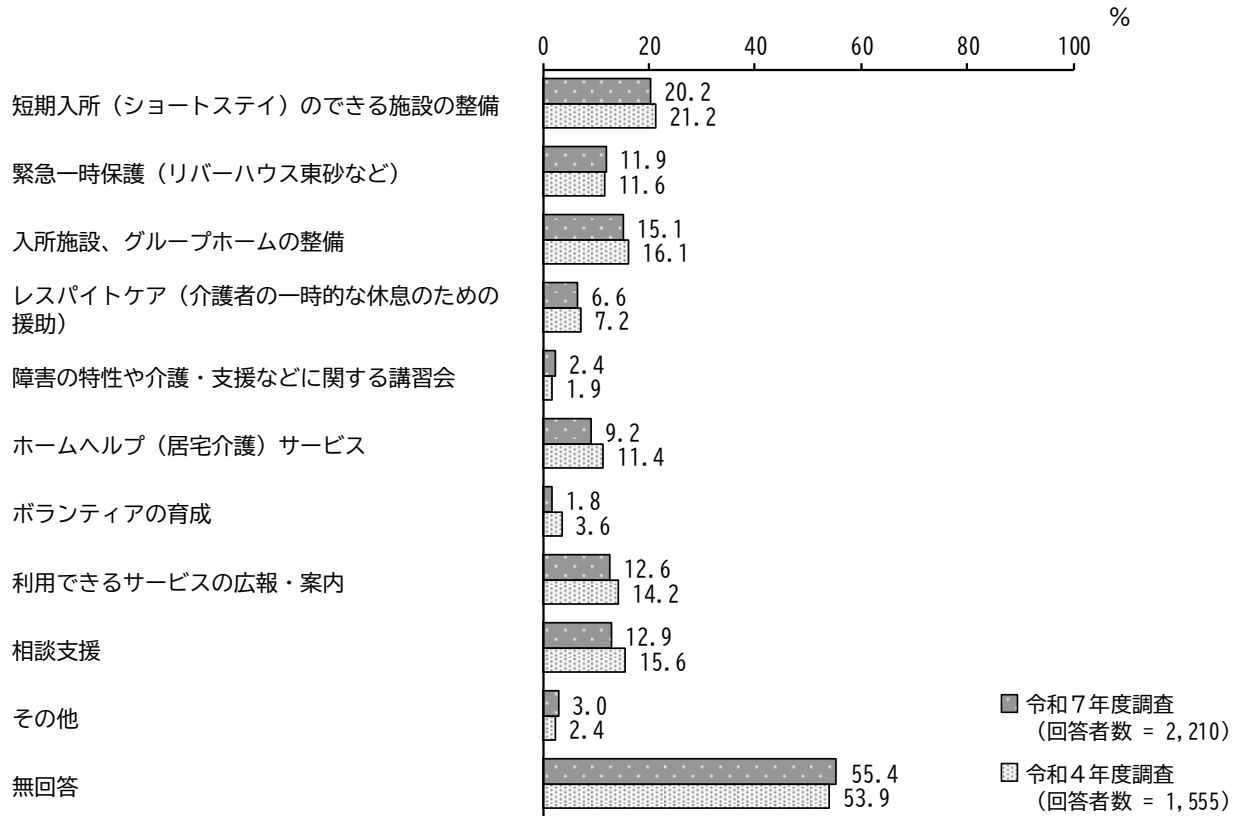
イ) 1日の介護時間

「2時間未満」の割合が 12.4%と最も高くなっています。



問 62 家族で介護する方への支援策として、今後充実してほしいことは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」の割合が20.2%と最も高く、次いで「入所施設、グループホームの整備」の割合が15.1%、「相談支援」の割合が12.9%となっています。



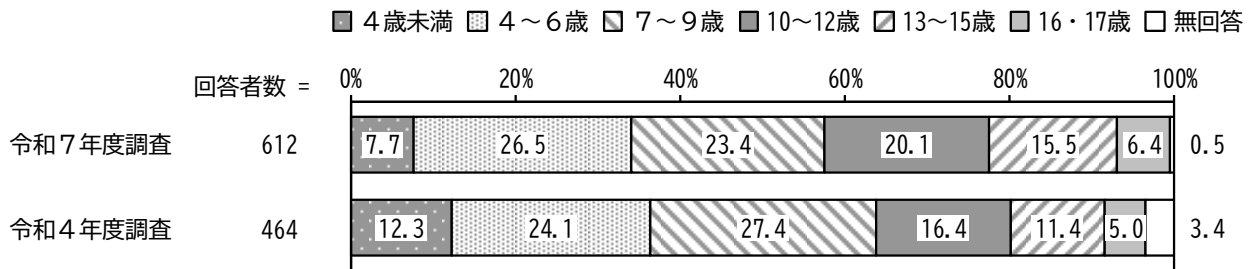
2 障害児

(1) お子様の状況について

問1 お子様の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

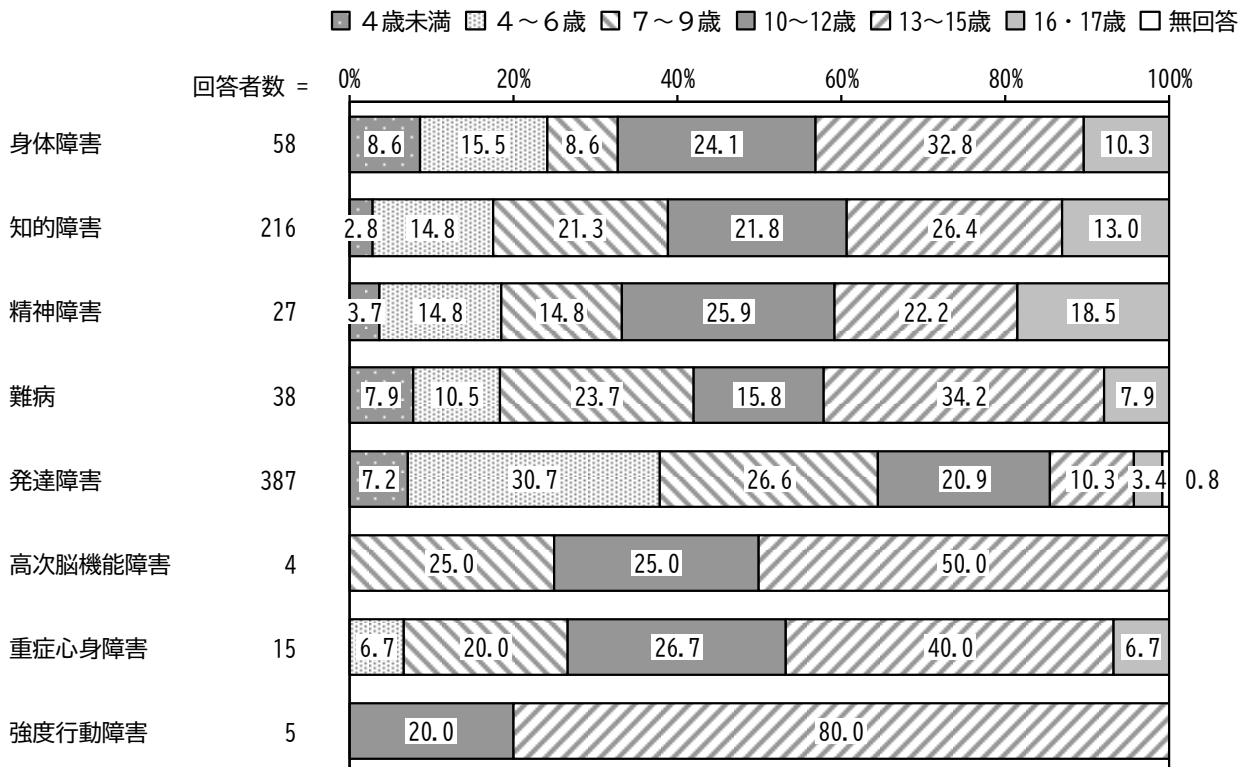
【全体】

「4～6歳」の割合が26.5%と最も高く、次いで「7～9歳」の割合が23.4%、「10～12歳」の割合が20.1%となっています。



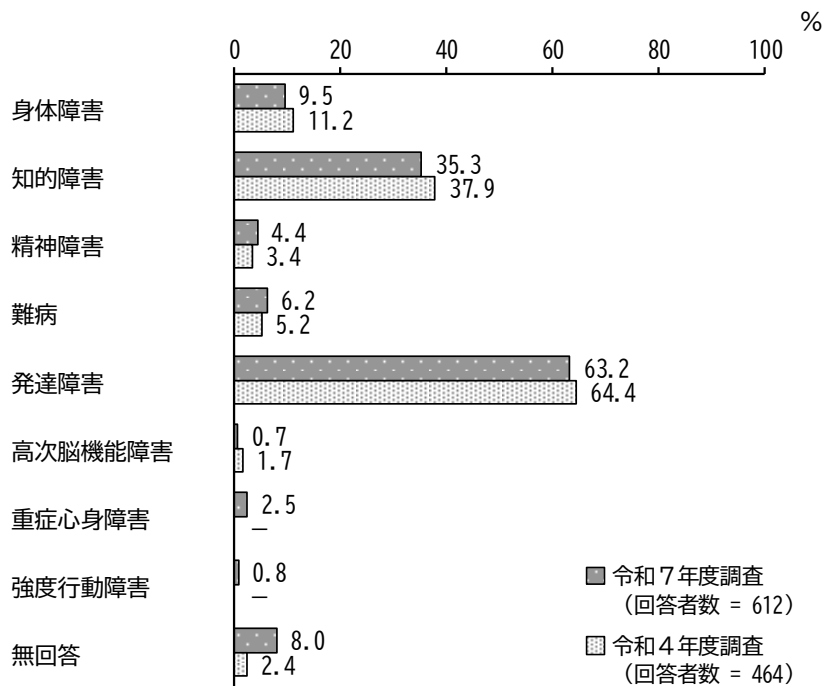
【障害種別】 ※複数回答可

障害種別にもと、重症心身障害で「13～15歳」、精神障害で「16・17歳」の割合が高く、重症心身障害で「4～6歳」、身体障害で「7～9歳」の割合が低くなっています。



問2 お子様の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

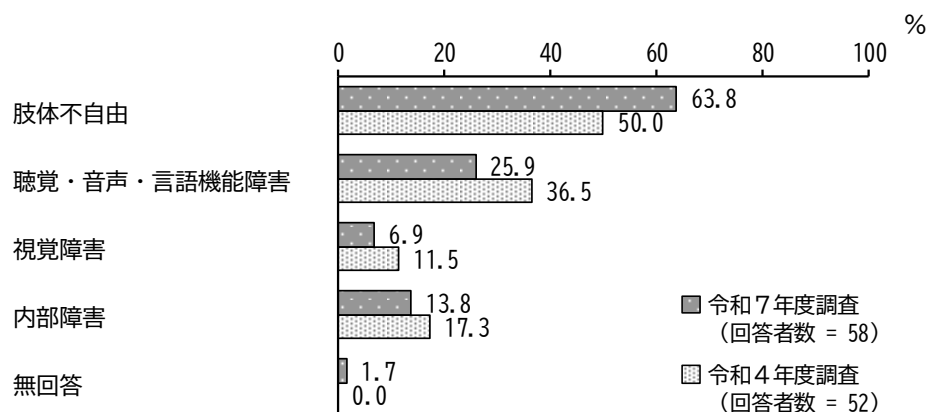
「発達障害」の割合が63.2%と最も高く、次いで「知的障害」の割合が35.3%となっています。



※回答項目の「重症心身障害」、「強度行動障害」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

身体障害の種類

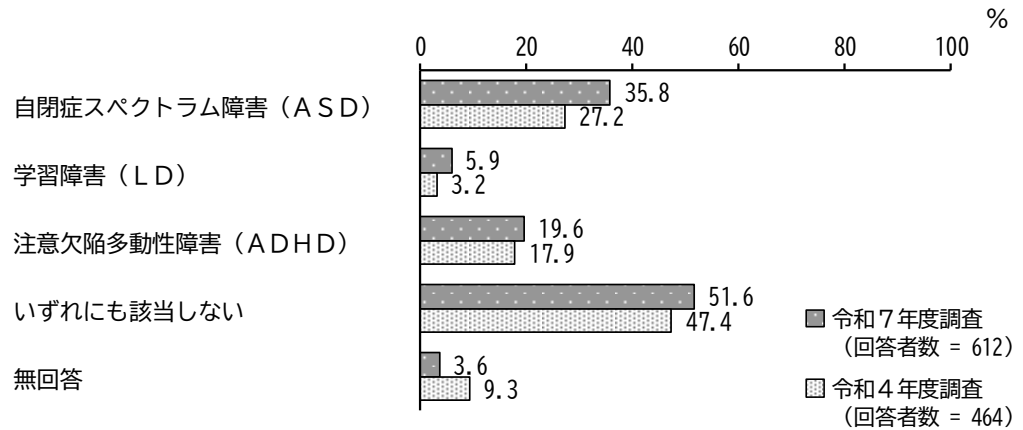
「肢体不自由」の割合が63.8%と最も高く、次いで「聴覚・音声・言語機能障害」の割合が25.9%、「内部障害」の割合が13.8%となっています。



問4 お子様は、次のような診断を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「自閉症スペクトラム障害(ASD)」の割合が35.8%、「学習障害(LD)」の割合が5.9%、「注意欠陥多動性障害(ADHD)」の割合が19.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害(ASD)」の割合が増加しています。

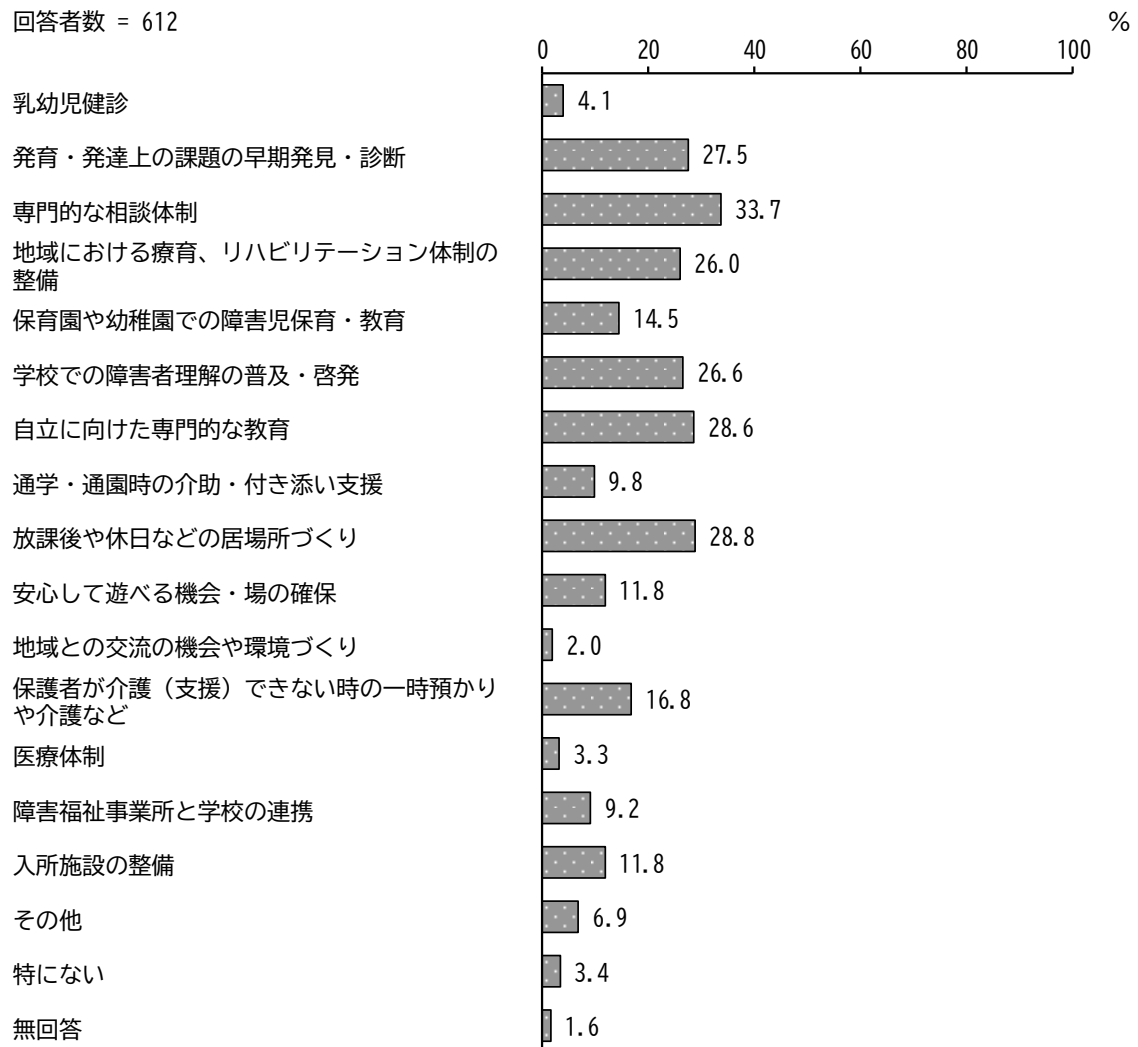


(2) 仕事や学校生活について

問 10 療育や支援で、さらに充実させるべきだと思うことはありますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「専門的な相談体制」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「放課後や休日などの居場所づくり」の割合が 28.8%、「自立に向けた専門的な教育」の割合が 28.6%となっています。

回答者数 = 612

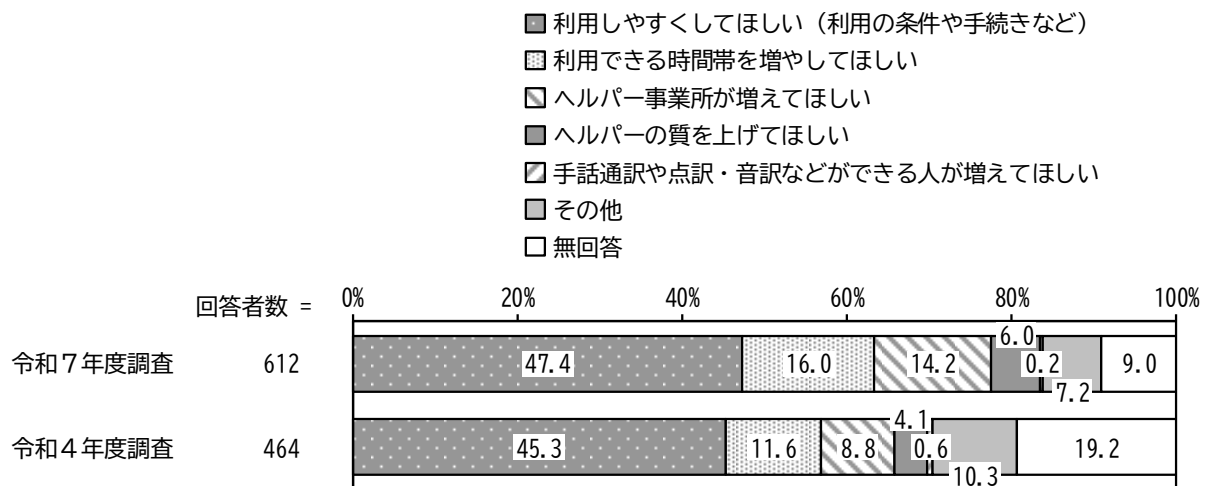


(3) 社会参加やコミュニケーションについて

問 12 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「利用できる時間帯を増やしてほしい」の割合が 16.0%、「ヘルパー事業所が増えてほしい」の割合が 14.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ヘルパー事業所が増えてほしい」の割合が増加しています。

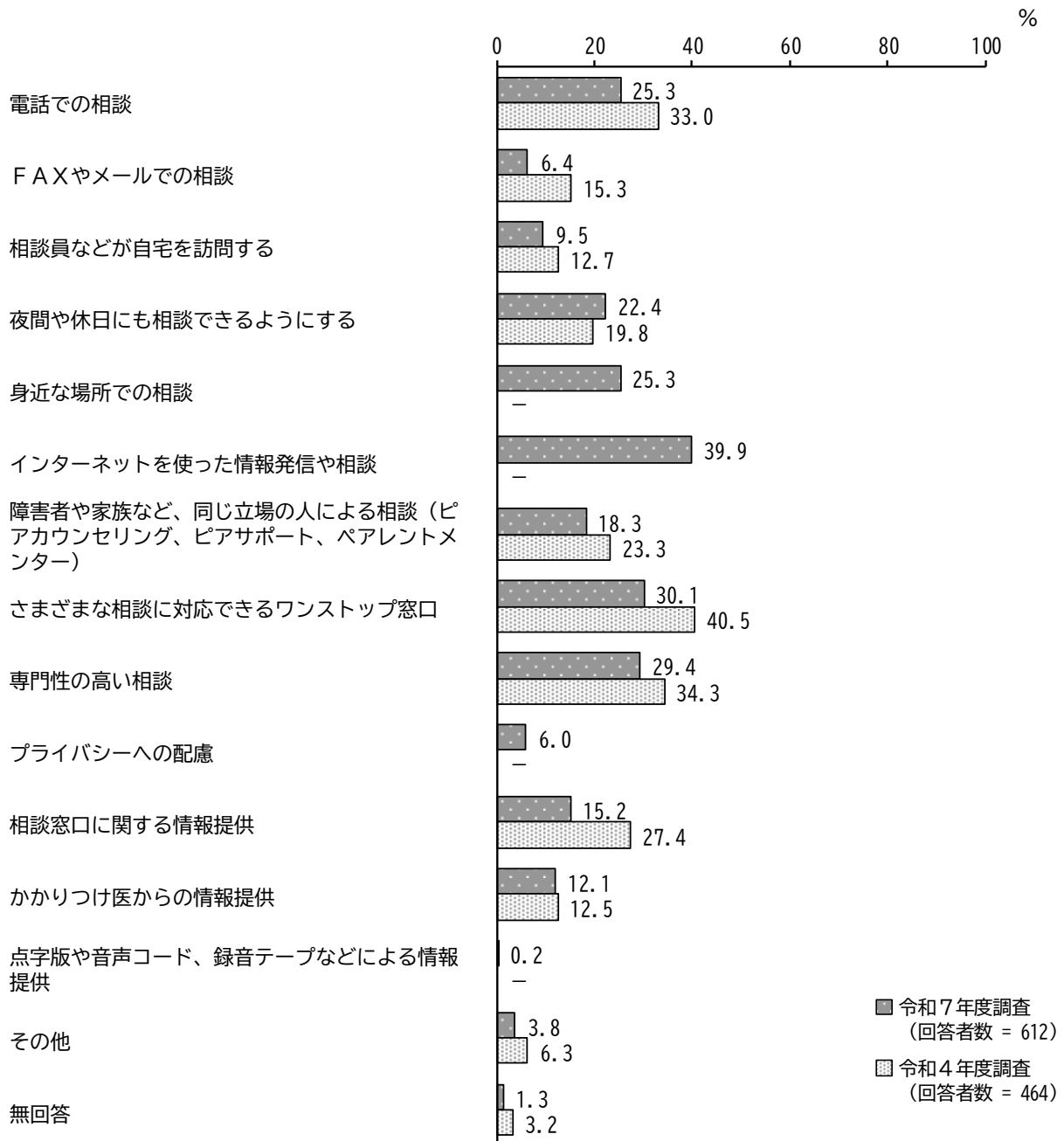


(4) 情報・相談先について

問 16 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「インターネットを使った情報発信や相談」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」の割合が 30.1%、「専門性の高い相談」の割合が 29.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「電話での相談」「FAXやメールでの相談」「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」の割合が減少しています。



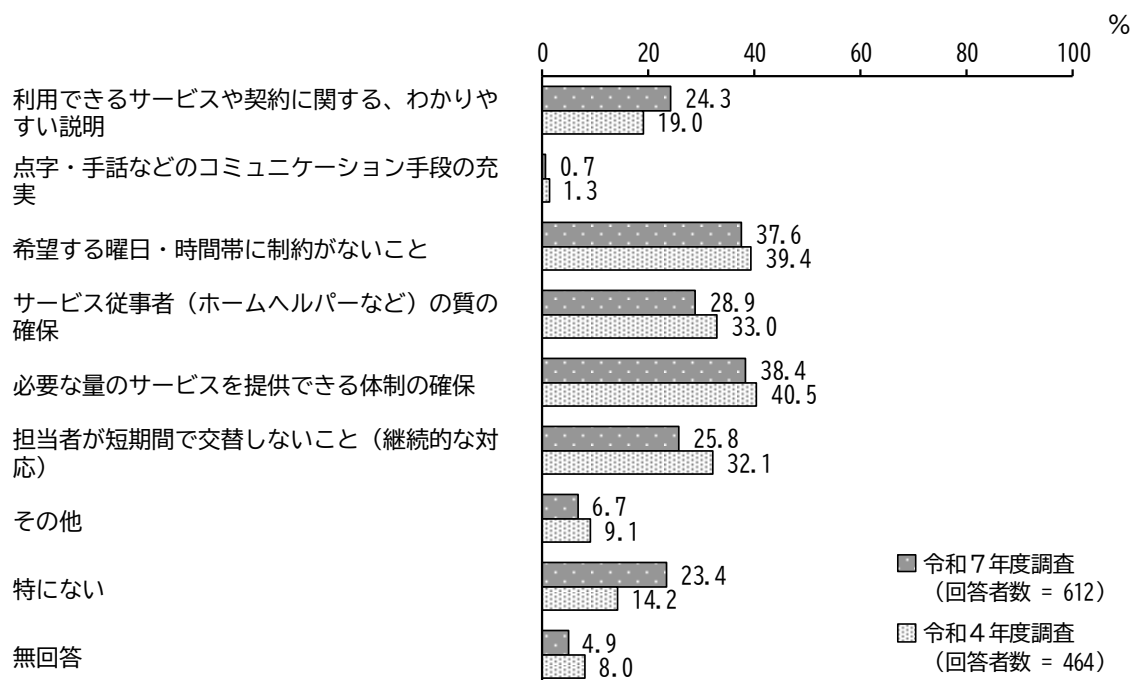
※回答項目の「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「プライバシーへの配慮」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は今回調査で新たに追加した選択肢です。

(5) サービスの利用について

問 21 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が 37.6%、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」の割合が 28.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が増加しています。一方、「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」の割合が減少しています。

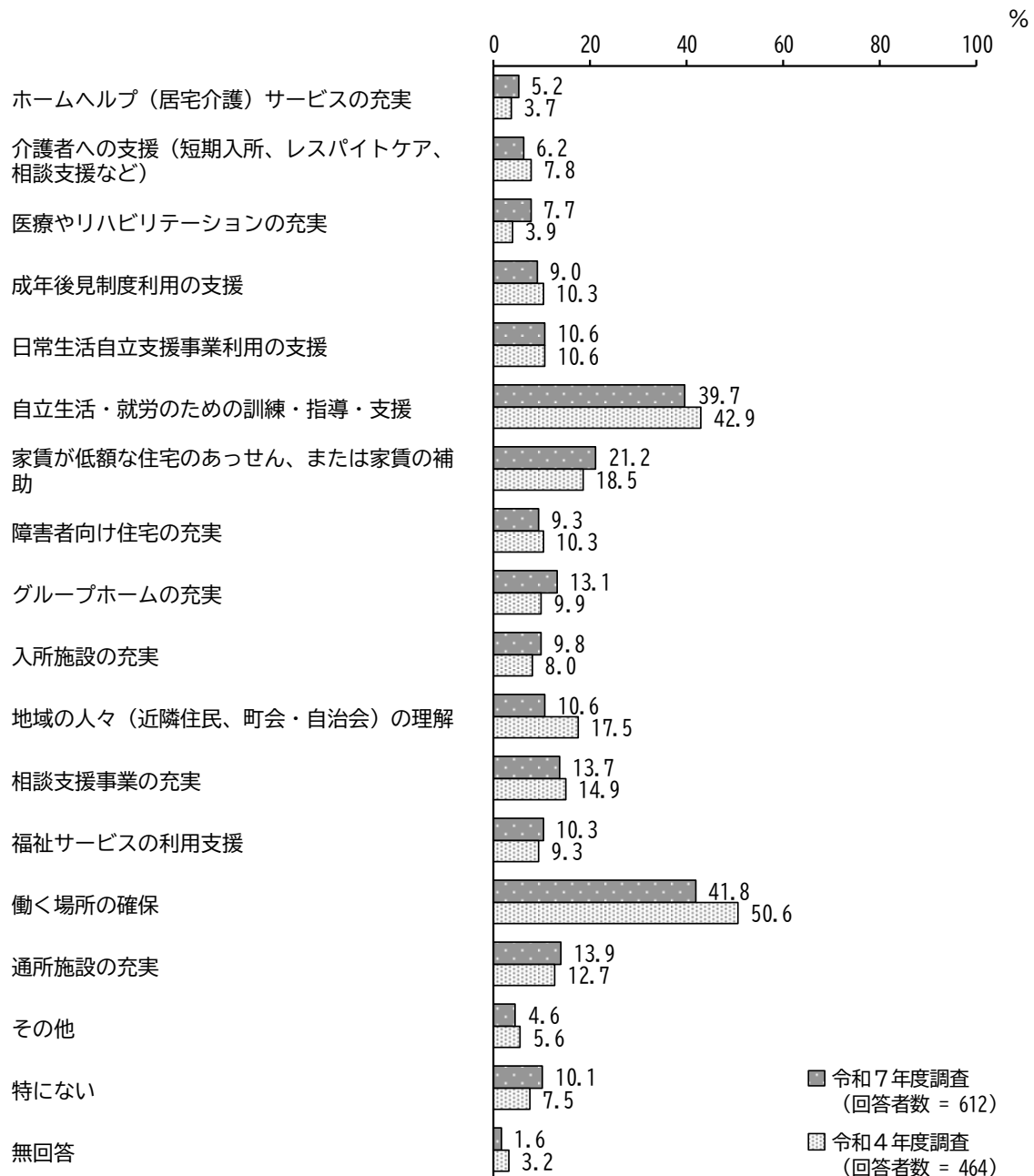


(6) 暮らしについて

問 25 お子様が将来、自立した生活を送ることができるようになるために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「働く場所の確保」の割合が41.8%と最も高く、次いで「自立生活・就労のための訓練・指導・支援」の割合が39.7%、「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」の割合が21.2%となっています。

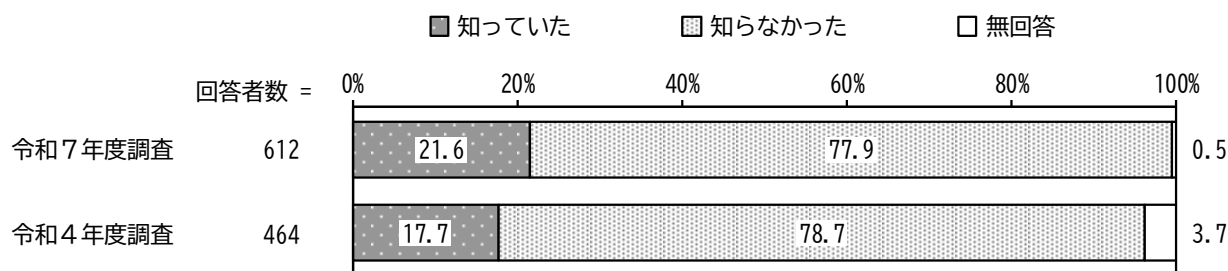
令和4年度調査と比較すると、「地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解」「働く場所の確保」の割合が減少しています。



(7) 災害時の支援について

問 28 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

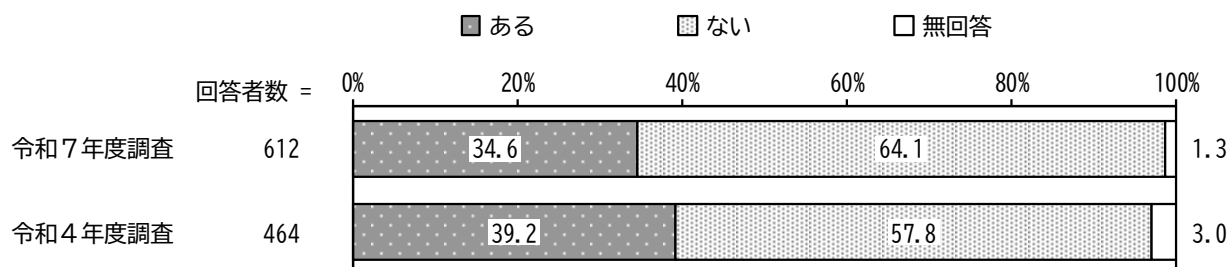
「知っていた」の割合が21.6%、「知らなかった」の割合が77.9%となっています。



(8) 障害者施策について

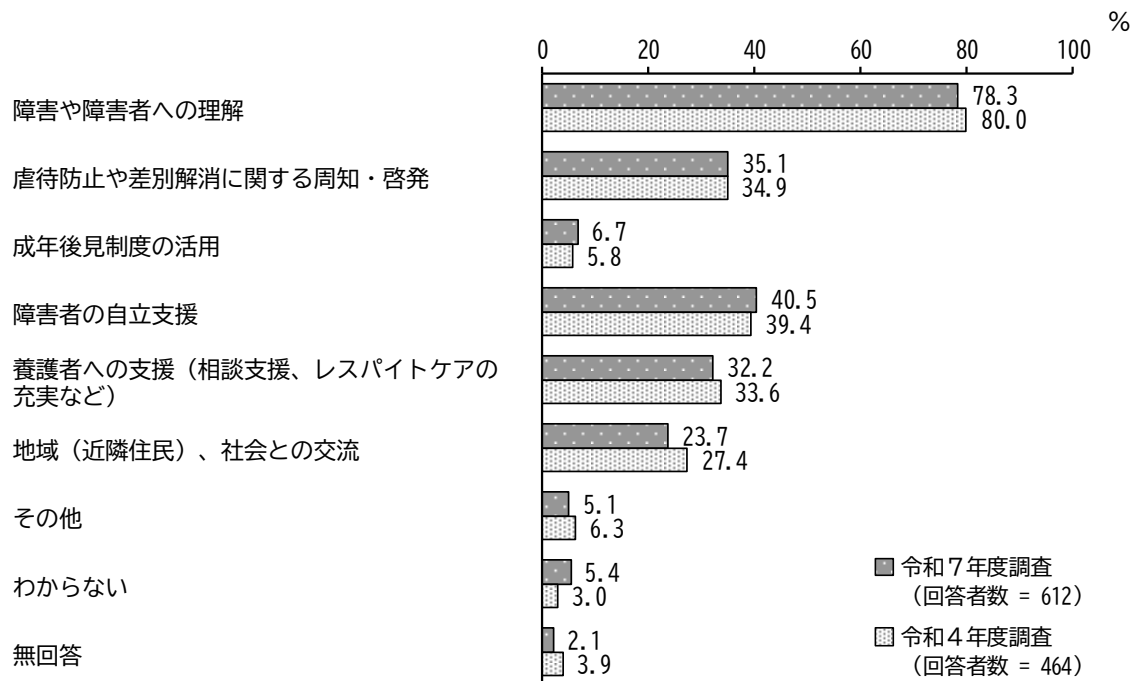
問 35 これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が34.6%、「ない」の割合が64.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



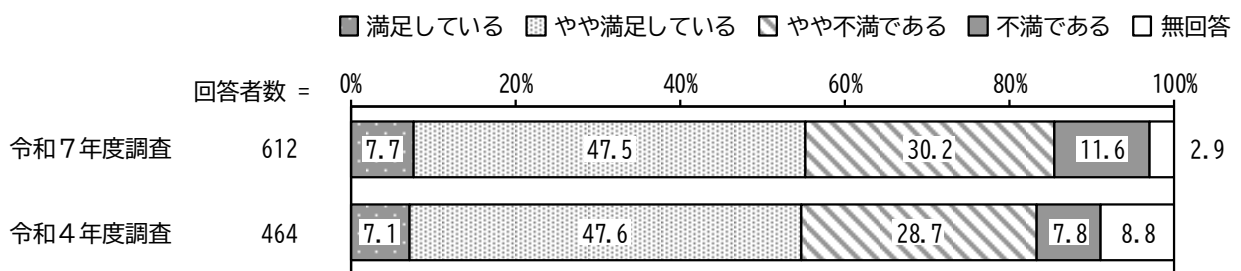
問 36 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害や障害者への理解」の割合が78.3%と最も高く、次いで「障害者の自立支援」の割合が40.5%、「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」の割合が35.1%となっています。



問 40 あなたは、障害者（児）支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

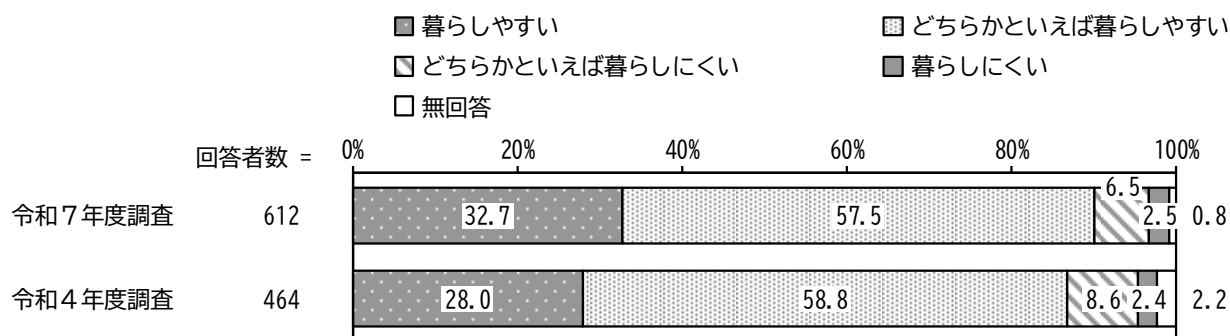
「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が55.2%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”の割合が41.8%となっています。令和4年度調査と比較すると、“不満である”の割合が増加しています。



(9) 共生社会について

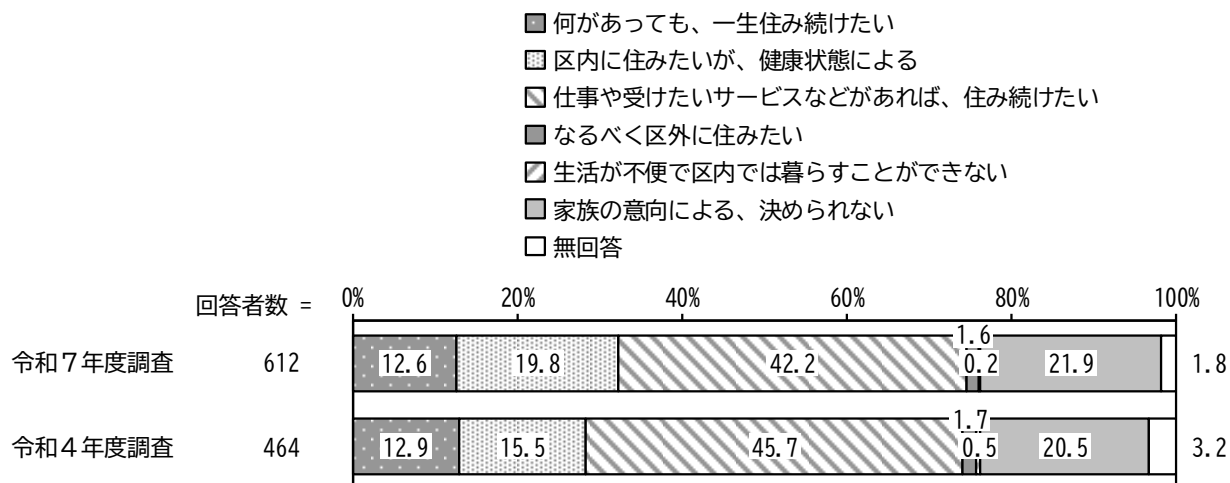
問 46 あなたにとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「暮らしやすい」の割合が 32.7%となっています。



問 47 あなたは、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「家族の意向による、決められない」の割合が 21.9%、「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が 19.8%となっています。

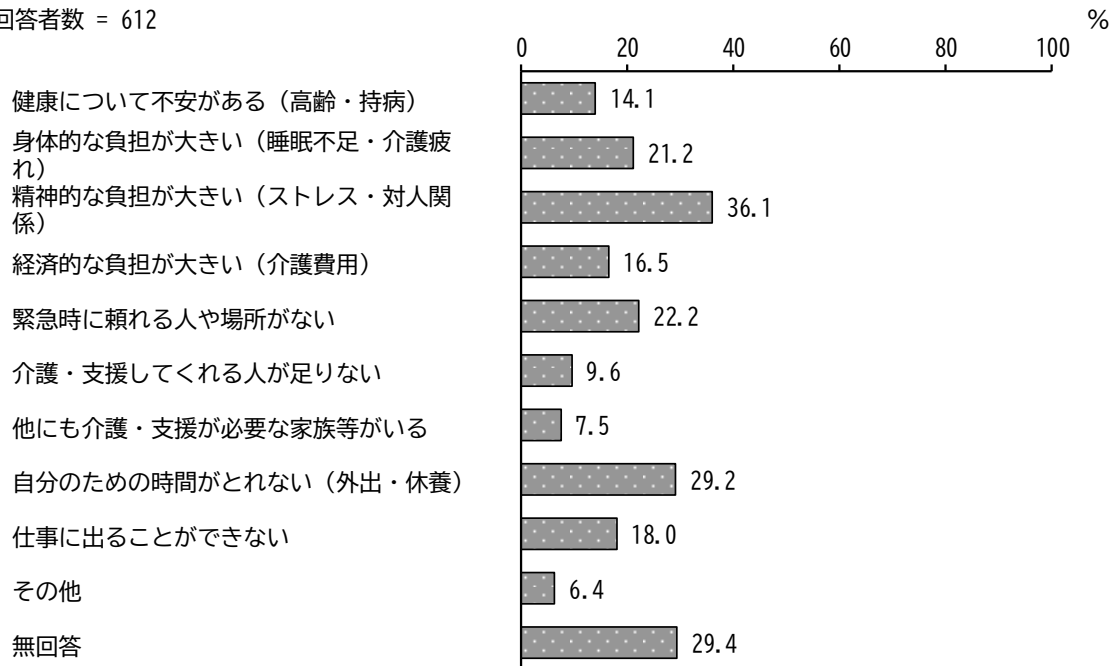


(10) 介護者について

問 54 介護をするにあたり、どのような悩みや不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「精神的な負担が大きい（ストレス・対人関係）」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「自分のための時間がとれない（外出・休養）」の割合が 29.2%、「緊急時に頼れる人や場所がない」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 612

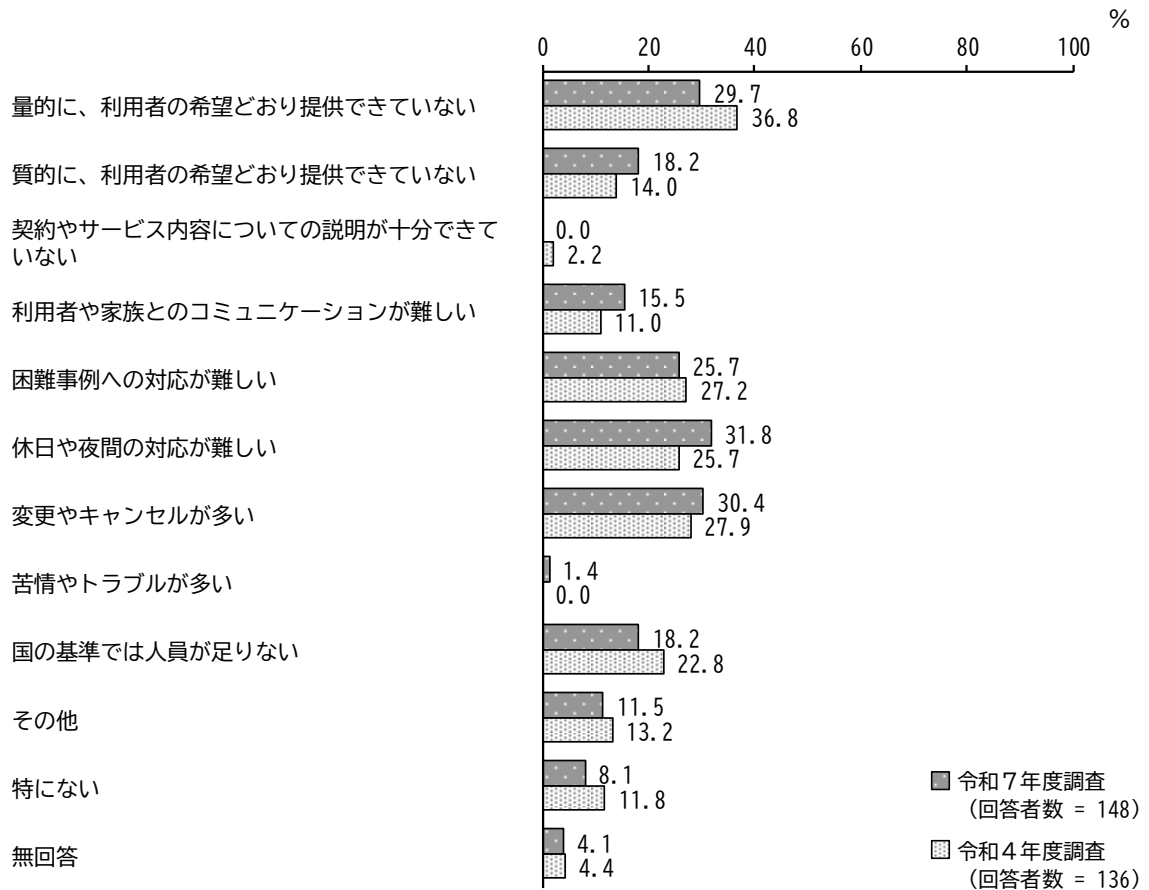


3 サービス事業提供所 (1) サービスの提供について

問9 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

「休日や夜間の対応が難しい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」の割合が30.4%、「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」の割合が29.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「休日や夜間の対応が難しい」の割合が増加しています。

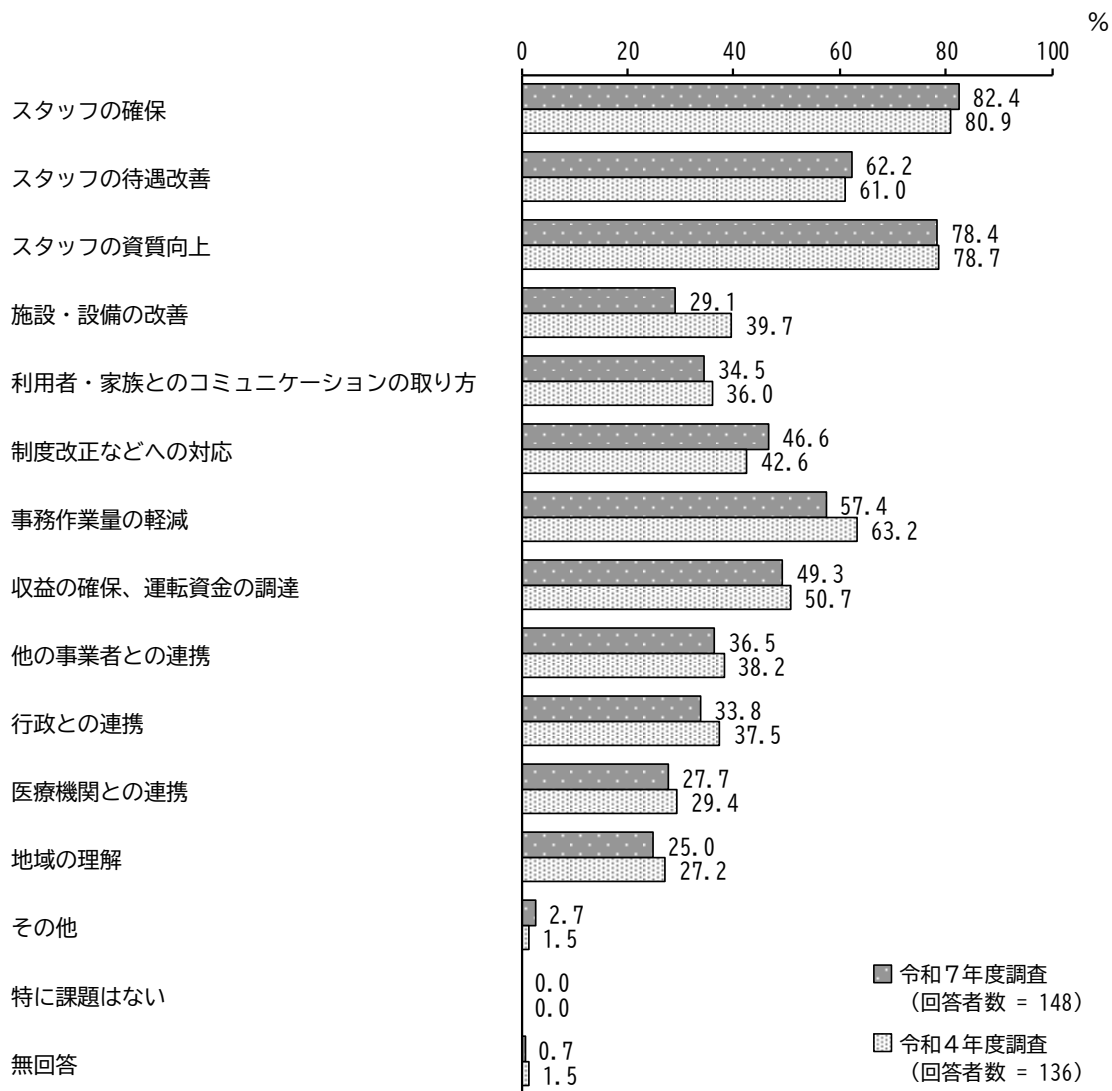


(2) 事業所運営について

問 17 貴事業所を経営していく上での課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

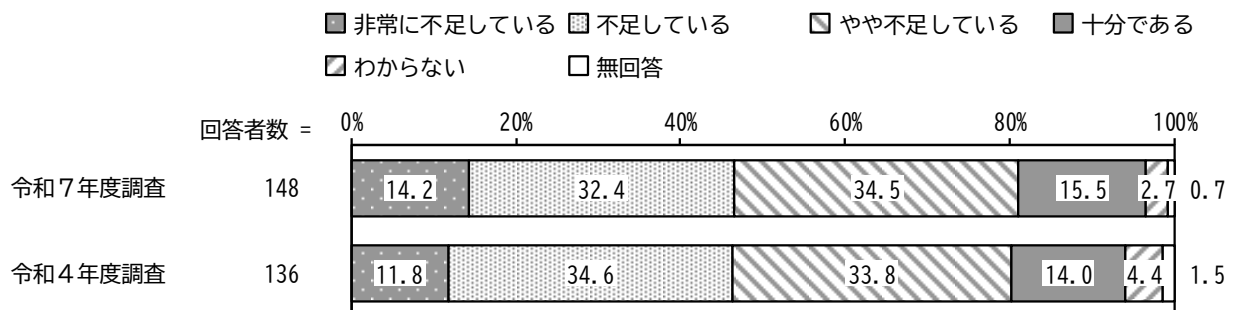
「スタッフの確保」の割合が 82.4%と最も高く、次いで「スタッフの資質向上」の割合が 78.4%、「スタッフの待遇改善」の割合が 62.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「施設・設備の改善」「事務作業量の軽減」の割合が減少しています。



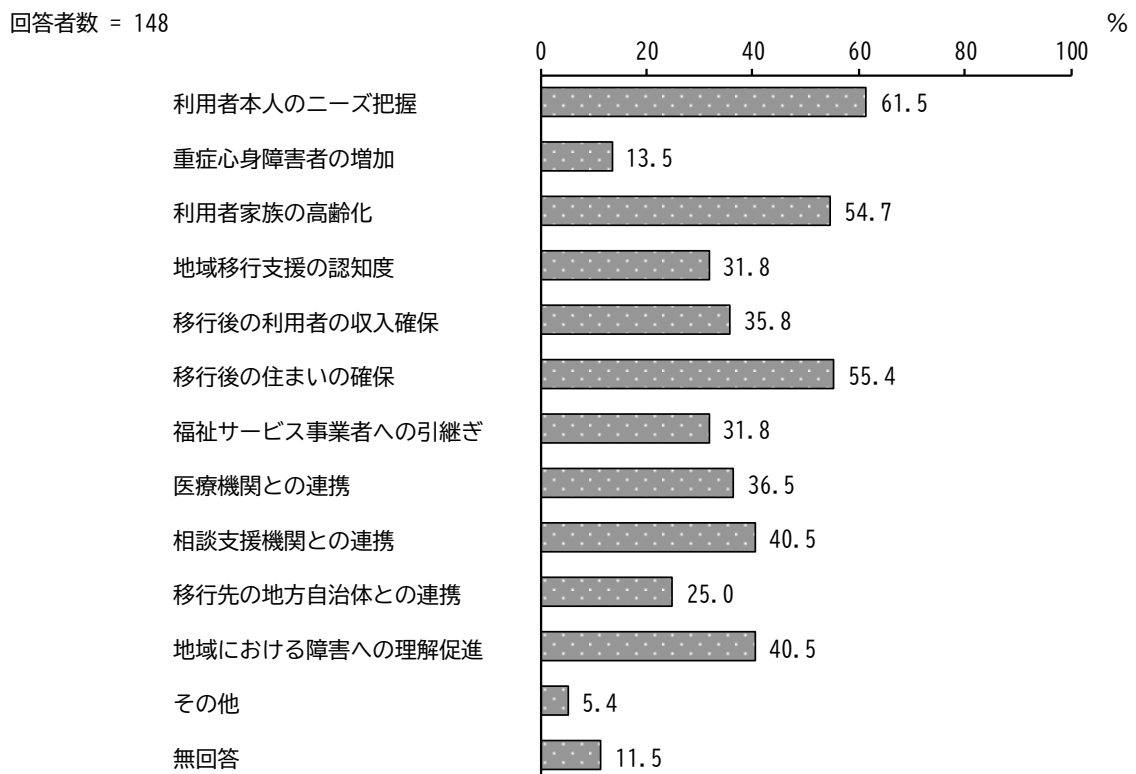
問 20 職員数は充足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「やや不足している」の割合が34.5%と最も高く、次いで「不足している」の割合が32.4%、「十分である」の割合が15.5%となっています。「非常に不足している」「不足している」「やや不足している」を合わせると、職員不足とする事業所の割合は全体の81.1%となっています。



問 31 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用者本人のニーズ把握」の割合が61.5%と最も高く、次いで「移行後の住まいの確保」の割合が55.4%、「利用者家族の高齢化」の割合が54.7%となっています。



問 41 関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「顔の見える関係づくりを行う」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「情報交換できる協議会を設置する」の割合が 52.7%、「インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」の割合が 48.0%となっています。

回答者数 = 148

